



和光市長

誰もが輝ける和光市をつくる

しばさき光子

みつこ

令和3年5月に多くの市民の皆さまのご支持をいただき市長に就任してから間もなく4年
が経ちます。このレポートでは『4年間の活動』と『公約の取組状況』をご報告します。



ニュースレター
News Letter

さらに

一歩前へ

私のモットーは「一歩前へ」進むために
とにかくやってみる「チャレンジ精神」です。
初心を忘れず、さらなる前進に向けた
一歩を踏み出したいと考えております。



和光市初の女性市長

～女性活躍の流れは県内自治体に広がる～



森田 初恵 川越市長が和光市役所に来庁した
際の写真です。指でWをつくる「和光ポーズ」を
一緒にしてくれました



市内小・中学生、和光高校・和光国際高校の生徒
の皆さんと対話や意見交換を行いました

私が就任した当時は、長瀨町長しか女性首長はいませんでした。しかし
**和光の選挙を呼び水に草加市、蓮田市、行田市、そして先日、川越市と
朝霞市でも女性市長が誕生しました。**全国の女性首長ネットワークにも
参加し、連携を強めております。また、対話の際もこどもたちから
「お母さんみたいだから話しやすい」という言葉をいただき、大変嬉し
く思っています。

市民の安全を第一に

～下水道・道路など安全点検の現場へ～



2月12日に実施した空洞化調査に立ち会った際の様子



通学路安全点検の様子

1月28日に埼玉県八潮市で下水道管の老朽化が原因とみられる
大規模な道路陥没事故が発生しました。和光市には国から要請され
た緊急点検の対象となる**直径2m以上の下水道管はありませんが、日頃
から市が管理する下水管の定期点検を行っています。**私も2月12日に
「わびあ」前歩道で行われた空洞化調査に立ち会い、安全を確認して
います。また、千葉県八街市で下校中の児童5人がトラックにはねられ
死傷した事故を踏まえて和光市役所、県土整備事務所、県警が合同実施
した『**通学路の安全点検**』でも市内の危険箇所を調査を行い、ガード
パイプの設置などの対策が進みました。

※掲載した写真は X(しばさき光子 @mitsuko_1974) から引用した内容も含みます。

新しい市長像・政治家像を目指して

～仕事と家庭、どちらも大切に～



就任時から大きなテーマだったのが**市長職と家庭の両立**です。どうし
ても伺えない行事もあり心苦しい場面もありました。それでも、**あと
に続く女性のためにも**、私に課せられた最大の役割は「市民の幸福・
和光の発展を市長職として実現すること」と捉えて日々励んでおりま
す。だからこそ、この4年間、市内の様々な場所で皆さまと出会えた
一つ一つの瞬間が私にとっての大切な宝物となっています。

市と県の繋がりを強固に

～まちづくりの推進に大野知事と連携～



大野埼玉県知事に、2期社会実証中の
自動運転バスに試乗いただきました



『知事のふれあい訪問』の様子(和光市初の
PPP/PFI(公民連携)事業である「わびあ」を視察)

市町村行政は都道府県と密接に関わっています。**特にまちづくり・
基盤整備の分野においては県との連携は欠かせません。**私は、就任時
より**大野知事と緊密な連携**のもと、都市基盤整備に取り組んできま
した。和光北インター東部地区土地区画整理事業、洪水対策のための
新河岸川の護岸整備と市内を流れる3つの河川の環境整備、県管理
道路の整備・維持管理など市民生活に多くの関わりがあります。また
大野知事が進める「埼玉版スーパーシティ・プロジェクト」に組み
込む自治体の1つとして、自動運転バスなどの先進技術を活用した
地域公共交通網を進めています。これからも県と連携して**和光市の
まちづくりを進めてまいります。**

しばさき光子の公約実現への取り組み



令和3年の市長選挙の際、私は「しばさき光子が描く 夢と政策の和光地図」と題した公約をお示しました。その他にも日々移り変わる時流に合わせて、市議会からのご提案や市民の皆さまからいただくご意見をもとに、必要な取組を積極的に進めてきました。

こうした政策の取組状況や実現状況の一部をご紹介します。
いずれもさらなる実現・充実に向けて「現在進行中！」の内容も多いです。
これからも政策を「さらに一步前へ」進めるべく、取り組んでまいります。
(※公約の達成状況の詳細については、後日、和光市ホームページの「ようこそ市長室へ」のコーナーに掲載予定です。)



◆ 北口再開発・高度化を推進し、和光新時代を牽引します

令和6年3月に「和光市駅北口地区の市街地再開発事業に係る都市計画決定」を行いました。引き続き和光市の玄関口に相応しい賑わい・活気ある魅力的なまちなか空間の創出を目指し、**土地地区画整理事業との一体的施行**により事業進捗を図ってまいります。



駅北口周辺図 ※和光市ホームページより

◆ 駅前イベントの復活

新型コロナで中止していた駅前イベントを令和5年3月に復活第1弾を実施。以降、コロナ禍前にも増して活発に行われています。



Peace Light Musicでの様子

◆ 和光北インター周辺を【埼玉版スーパー・シティプロジェクト】のモデルとなり得る地区に

自動運転バスの取組を含む「和光市版スーパーシティ構想」を県に提出し、**県内63市町村のうち最も早い第1期の取組に選定**されました。専用レーンの設置や社会実装のための試乗会の実施した他、わこらぼ、市民まつりのほか、「まちづくりシンポジウム」を開催し、周知に努めました。

令和6年度に実施した自動運転バス試乗会のお知らせチラシ



◆ 農業振興

市内自給率のアップ・和光市農産物の販路拡大を目指して、**毎月広報等を通じ市内農産物のPR**を行い、農産物直売センターや販売イベントの利用者数の増加に努めています。



新倉ふるさと民家園の芋掘りにも参加させていただきました

◆ 市内交通

- 和光市地域公共交通会議を開催し、市民の皆さまからのパブリックコメントも踏まえて、**小型バスの導入など新たな市内循環バス運行**を開始しました。
- 市内循環バスの委託会社が運転手不足で撤退も余儀なくされた場面において市として**運転手不足対策費を計上し、路線維持**に取り組みました。
- その他、令和4年8月から令和5年3月まで「**公共交通空白地域タクシー利用料金助成事業**」を実施しました。



令和5年度から走り出した新しいデザインの「わこぼ」



わこぼ 小型バス

◆ 福祉分野の建て直し

- 子ども家庭支援課**を創設。
これにより、従来は制度の狭間に落ちてきた医療的ケア児支援が具体的に動き始める。
- 地区社協**が市内全域で立ち上がる
これにより「子どもの居場所マップ」の取組がスタートし、新たに「こどもが行ける場所まつり2025」も開催されました。
- チームオレンジ**※の発足。
認知症の人やその家族を地域で支えるボランティア活動
- 元気高齢者の地域活動をサポートするWebサービス「GBER(ジーバー)」をスタート



こどもが行ける場所まつり2025の様子



こちらのQRコードからGBER登録画面にアクセスできます。是非ご覧ください。

◆ 時代の転換点に合わせた市役所経営

- 窓口手続きのDXの推進(**住民票のコンビニ交付**など)
- 令和4年9月に**公益通報・ハラスメントの外部相談窓口**を設置
- 市役所のDXの推進
 - ・庁内決裁文書の一部デジタル化
 - ・ノートPC、Wi-Fi導入による会議の効率化 など

▶これにより窓口対応増員や職員の働き方改革が進みました



Profile

しばさき光子

Mitsuko Shibasaki

趣味
資格

動物園・野鳥公園・植物園に行くこと、公園などを歩くこと、ヨガ、お笑い、犬のお世話(柴犬)
税理士、英検準1級、TOEIC 950、中国語検定4級

経歴

●昭和49年 和光市生まれ・白子在住 ●家族は夫、子ども2人、両親、犬(柴犬)1匹 ●実家は現在、市内でブルーベリー農園を経営 ●大和すみれ幼稚園、白子小学校、富士見中学校高等学校(練馬区)、学習院大学経済学部卒業 ●ソフィア税理士法人、PwC税理士法人、EY税理士法人勤務を経て、平成24年に柴崎光子税理士事務所設立 ●平成26年10月～平成29年11月 和光市監査委員 として市の監査等に従事 ●平成30年から3年間シンガポールに家族とともに滞在、投資ファンドで財務、経理を担当 ●令和3年に和光市長就任

[発行元]

しばさき光子と和光を輝かせる会

4月より臨時事務所を開設します
和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡401
TEL:048-424-3684
✉ blueberry19740101@gmail.com

しばさき
公式HPは
こちら



X
(旧Twitter)



討議資料